

豊中市



豊中市の情報化の拠点「エキスタとよなか」でのパソコン相談の様

地方の



地方公共団体のユニークなまちづくりや
活気あふれる地方の実像を紹介します

市民ボランティアがパソコン講習を 開催し、情報格差を解消

大阪市に隣接し、ベッドタウンとして成長してきた豊中市。日本初の大規模ニュータウンとして市北部の丘陵地帯が開発された「千里ニュータウン」はそのシンボルでした。しかし、関西国際空港のオープンで市内の大阪国際空港で働く人々が減少したことなどにより、豊中市の人口は昭和63年をピークに減少を続けています。一方、千里ニュータウンでも開発から40年あまりの月日が流れ、住民に高齢化の波が押し寄せています。人口の減少と高齢化の進む豊中市が市民の生活の質を高めるために挑戦していること、それは市民が主体となって進める「地域の情報化」です。



阪急豊中駅の一角にある「エキスタとよなか」



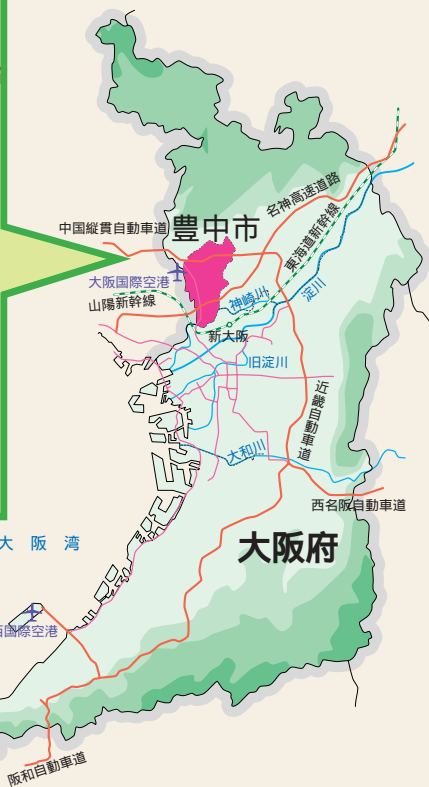
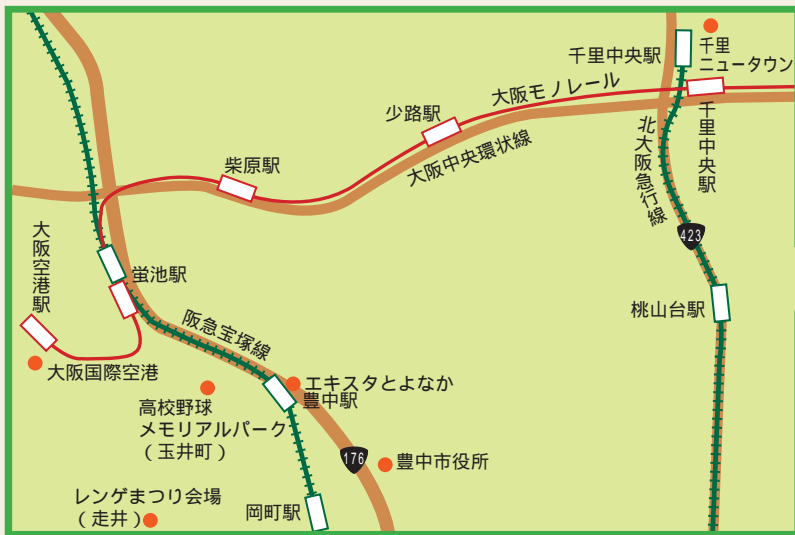
走井の水田でゴールデンウィークの頃に行われる「市民レンゲまつり」には家族連れなどが集まり、毎年多くの人で賑わう



阪神淡路大震災で大阪府内最大の被災地だった豊中市は防災にも力を入れている



まちびらきから40年あまりたつ千里ニュータウン



CITY SYMBOL



1

パソコン講習に応募殺到 市民のニーズを把握し 「地域ITリーダー」を育成

豊中市では平成13年度に市民を対象としたパソコン講習会を開催しました。受講者は8000人以上。この応募状況によって市は、パソコンを使えるようになりたいという市民ニーズを把握しました。また、講習を受けた市民からは「基礎的なことから、さらに技能を高めたい」という要望も。そこで、平成14年度から初心者パソコンを教えることのできる「地域ITリーダー」の育成講習を始めました。平成17年度までの4年間で、この講習を修了した市民は145人に及びました。



パソコン学習へのニーズの高さが判明した平成13年の講習会

2

市民ボランティアが 初心者向け講習会を開催 市の役割はバックアップ

地域ITリーダーの育成講習を修了した市民は、初心者パソコンを教えるボランティア活動を行う市民グループ「パソコンプラザinとよなか」を自主的に結成しました。市では、このグループの活動を支援することを決めましたが、活動の主体は市民です。市は、講習会場と機材の提供、受講者募集のための広報活動、応募者の抽選など、あくまで裏方に回り、リーダーたちが指導に専念できるように支援しています。平成17年度は、市内の老人福祉センターや公民館などで、30回以上に及ぶ初心者向けの講習会が開催されました。



市民が市民にパソコンを教える「パソコンプラザinとよなか」

知っ得
コラム

豊中市は高校スポーツの 発祥地



玉井町にある「高校野球メモリアルパーク」

全国高等学校野球選手権と言えば甲子園球場がその代名詞ですが、実は豊中市玉井町にある「豊中グラウンド」でその第1回大会(大正4年)が開かれました。昭和63年には、70回大会を記念して、豊中グラウンド跡地に当時の門柱や赤レンガ塀を再現した「高校野球メモリアルパーク」が完成しました。また、豊中市は全国高等学校ラグビーフットボール大会の第1回大会(大正7年)が開かれた場所でもあり、同大会の式典では、豊中市の梅花高等学校の生徒がプラカードを持つことが恒例になっています。

3

市民が集う地域情報化の拠点 エキスタとよなか 無料パソコン相談を開催

初心者向けのパソコン講習の会場の一つに、阪急豊中駅の「エキスタとよなか」があります。ここでは、豊中市と地域のケーブルテレビ会社が共同事業として立ち上げたスペースです。市では、ここに15台のパソコンと周辺機器を整備。地域リーダーたちの活動拠点と位置づけました。現在、無料のパソコン相談室が開かれ、市民が気軽にパソコンの悩みを相談できる場所として活用されています。ケーブルテレビの番組撮影も行われており、市民が15分間にわたり日ごろの活動を披露したり情報提供する「エキスタ集まれ!」は出演者が殺到するほどの人気です。



市民の人気番組「エキスタ集まれ!」

4

年齢層の高い市民も 意欲的にパソコンの使い方を学び、 デジタル・ディバイドを解消

パソコンをはじめとする情報通信技術の進展は、日常生活を便利にしています。しかしその一方で、高齢者など、人々がその恩恵に授けられない「デジタル・ディバイド(情報格差)」が生じ始めているのも事実です。豊中市で地域リーダーとして活躍しているのは、60歳代を中心とする市民。そして受講者の多くも同世代です。中高年の市民が意欲的にパソコンを学び、同じような悩みを共有する受講者にパソコンの使い方を指導することで、豊中市ではデジタル・ディバイドという課題を解消しようとしています。



意欲的な市民がパソコンを教え合うことで課題を解消



こどもたちの未来が輝く まちづくり

MESSAGE FROM THE MAYOR

豊中市長 浅利 敬一郎

豊中市は、昭和11年10月15日に誕生してから、今年で市制施行70周年を迎えます。市域の北西に位置する大阪国際空港をはじめ、名神や中国縦貫自動車道の高速道路と鉄道が縦横に市域を結ぶなど交通の利便性が高い住宅都市として発展を続けてまいりました。

市内には先史の時代から開かれたことをうかがわせる多くの古墳が分布しているほか、夏の高校野球予選の会場となる「豊中ローズ球場」のある豊島公園など、歴

史や自然に触れることのできる数多くの施設や場所があります。

また、本年6月には情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格であるISO27001を取得し、個人情報の保護を図りながら電子自治体づくりを進めております。これからも、市民の皆様と築いてまいりました「教育文化都市豊中」の更なる発展に全力で取り組んでまいります。